

シリーズ企画 四国八十八カ所巡り

第1回 普通寺

副会長 徳永 豊

四国八十八カ所霊場の75番札所であり、真言宗普通寺派の総本山である。寺は中讃の国造(くにのみやつこ)系豪族、佐伯氏一族の空海(弘法大師)の生誕地で、東西2院の寺域総面積45,000㎡は四国では最も広く、伽藍と呼ばれる東院が創建時の寺域である。

五重塔(国重文)は高さ45.2mもあり、木造では京都の東寺、奈良の興福寺に次ぐ全国3位の大塔である。さらに、日光東照宮の五重塔など全国で数例しかない懸垂工法を採用している。

また、朱塗の東門(赤門)前の赤門筋商店街は、旧陸軍第十一師団設置時、軍用の店が並んだのが始まりとされている。



総本山普通寺

編集後記

全国統一研修会 四国大会in松山が盛大に開催されて一年を迎えようとしています。この大会を通して四国ミロク会計士の先生方との距離感が非常に縮まったと感じています。この流れを一層発展させる上でも、「四国八十八カ所巡り」と題したシリーズ企画を開始させていただきます。今後、四国八十八カ所のお寺を順次会員の先生方に紹介して下さるよう、原稿執筆をお願いして参りますので、ぜひともご協力の程よろしくお願致します。

四国ミロク会計士会 広報委員会 委員長 岸上 善宣

四国ミロク会計士会では、
新規会員を募集しています！
お問い合わせは下記、事務局まで。

四国ミロク会計士会 事務局 田中・岩田
〒760-0018
高松市天神前10-12 香川天神前ビル8F
TEL : 087-833-1154 FAX : 087-833-1164

顧問先のかうじそは大丈夫ですか？

事業承継の対策資金は生命保険で対策が可能です。

「保険にはいるはいるはいるから大丈夫」

と思っている経営者の方が多いのですが、

大切なのは「必要な金額」と「必要な期間」が

しっかり備わっていること

4つの資金 **かうじそ** の準備は

エヌエヌ生命の法人保険で対策を。



へんろ道



発行 者： 四国ミロク会計士会
発行責任者： 会 長 木村 幸博
編集責任者： 広報委員長 岸上 善宣
第3号 2017年9月15日発行



写真タイトル：夜空を舞い、セスナの翼に映る火花も楽しむ さぬき高松まつり花火大会 撮影 木村 幸博

本写真の空撮動画は、ミロク会計士会のホームページにて近日公開予定です (<https://www.mirokukai.ne.jp/aboutus/area/shikoku/index.html>)

所謂、人工知能(AI)は会計業界にとって脅威か？結論から言えば、10年先には脅威となる。

先般、ロサンゼルスで会計事務所を訪問した。アメリカには税理士制度はないが、会計制度と納税制度は日本以上の先進国である。税理士制度にAIが直接関係するかどうかと言えば、米国といえども今のところNOである。税法は、連邦法と州法が複雑多岐にわたり、今現在の脅威ではないという。しかし、アマゾンをはじめ巨大企業でAI化が進み、単純労働者は排除される。優良企業はM&Aを推進し、税務申告にはH&Rブロック社のような大手の代行会社が脅威となる。その人たちが企業が今後どう行動するか。それが、会計業

界を左右する。すなわち、スモールを含めたビジネスの多様化。

アメリカの会計士はその取り込みに余念がないようだ。具体的には、ホームページ(HP)の充実を動画、特に顧客や従業員の動画での意見、感想の言葉で回り、実質的には顧客とのコミュニケーション能力の開発、説明ツールの多様化で差別化を図る。日本の会計事務所には、試算表を送って「見ておいてね」が多いと思われる。そうではなく、上から下まで言葉を変えての説明能力の開発が必要であろう。

ミロク会計士の会員にもコミュニケーション能力の開発と、HPの活用を提言したい。今後の後継者育成のためにも。



四国ミロク会計士会 会長 木村 幸博

四国ミロク会計人会 第42回定期総会・記念講演会

2017年7月14日(金)～15日(土)

会場 / リーガホテルゼスト高松



記念講演会の講師は徳武産業株式会社 代表取締役会長の十河 孝男氏



挨拶を述べられる是枝 周樹・ミロク情報サービス 代表取締役社長



新潟大会の案内をされる増田 正廣・関東信越ミロク会計人会 会長



今井 彰・第42回全国統一研修会 大会準備委員長



懇親パーティの様



恒例の徳永 豊副会長の中締めの様

第42回全国統一研修会は新潟開催です！



平成29年11月9日(木)
ANAクラウンプラザホテル新潟

みなさまのご参加をお待ちしております。



●定期総会・記念講演会に参加して

香川地区 太田 一司

平成29年7月14日(金)、リーガホテルゼスト高松において、第42回四国ミロク会計人会定期総会が開催されました。

第1部は、昨年の全国統一研修会 四国大会in松山で第二分科会を担当され大好評であり、もっとたくさんの人に話を聞いてほしいということから、再度、徳武産業株式会社 代表取締役会長の十河 孝男様に「感動のオンリーワン企業を目指して」と題した記念講演会をお願いさせていただきました。この講演のなかで最も感銘を受けたのは「企業は地域に迷惑をかけながら営業させてもらっている」という考え方のもと、毎週社員一同による地域のごみ拾いを行ったり、会社が通学路沿いにあることから通学生のためのトイレを建てたという話であり、このような姿勢がお客様一人ひとりに寄り添った仕事を生むのではないかと考えさせられました。

第2部は、エヌエヌ生命の研修会が行われ、同社の提唱する4つの資金ニーズへの対策「かうじそ」という考え方について説明がありました。

第3部では、来賓として、株式会社ミロク情報サービスより是枝 周樹社長、由井 俊光専務、今年の全国統一研修会の担当である関東信越ミロク会計人会より増田 正廣会長、今井 彰大会準備委員長を迎えて総会が行われ、各議案の審議の結果すべて承認可決されました。そののち今年の全国統一研修会 新潟大会の案内があり、総会は無事終了しました。

第4部は、お待ちかねの懇親パーティです。ホテルの美味しい料理、お酒を堪能し、懇親を深めたのち、恒例の徳永副会長の中締めにて散会となりました。

●懇親ゴルフ大会に参加して

愛媛地区 正司 哲浩

炎天下の中、定期総会の翌日、タカガワ新伊予ゴルフ倶楽部(愛媛県四国中央市)で懇親ゴルフ大会が開催されました。会員20名と関係者が参加し、ダブルベリア方式で熱戦が繰り広げられ、皆さんプレーを楽しまれていました。

高松市から約1時間30分、当日は土曜日でゴルフコンペが多く入っていたことから、各ホールでの時間待ちと水分を補給しながら「暑さと辛抱」の戦いでした。

同ゴルフ倶楽部でのプレー経験は、ここが開場した当時(約30年前)に一度あるのみ

で、どのようなコースか記憶に残っていない中でのプレーでした。キャディーはおらず、コースは狭く、ペントでグリーンは重く本当に苦勞しました。アウトインそれぞれでトリプルを1回、その他はパー、ボギーで切り抜け83で回ることができました。また、ダブルベリア方式を採用したことから、表彰式は優勝者を事前に発表しない中で行われ、大変盛り上がりしました。

11月には新潟の全国統一研修会で、懇親ゴルフ大会が予定されています。皆で参加いたしましょう。



タカガワ新伊予ゴルフ倶楽部

【個人成績】

- 優勝 正司 哲浩
- 準優勝 日下 雅史
- 3位 藤本 正義